

質問 発がん性を疑われる有機フッ素化合物PFASに関する問題について、①横田基地の漏出事故に対し、周辺市町や都と共に、国と米軍に立ち入り調査を要請し、実施させるまで交渉すべき。②市所有の井戸と災害用井戸のPFAS検査を実施すべき。③現状を把握するために、市内にPFAS対策チームを設置すべき。

答弁 ①国の責任において必要な対策を講じるよう、都と周辺市町連絡協議会で要請している。引き続き都と周辺市町との連携を基軸に対応していく。②都の調査結果や過去の概況調査等を勘案し、局面に応じて対応していく。③市全体で情



横田基地のPFAS事故で立ち入り調査の要請を

日本共産党昭島市議員 奥村 博 議員

質問 がんの早期発見にはがん検診が重要であるが、目標の受診率50%を超えていない。①受診率向上のため、女性の子育て期間中の乳幼児健診に併せてがん検診を受けられるようにする。②がん検診を促すような周知・啓発を。③各

答弁 ①がん検診を受診した方に対してインセンティブの付与を改めて検討すべき。②がん患者の医療用ウィッグ購入費用助成制度の創設について、考えは



市民の命を守る。取組みについて

公明党昭島市議員 吉野 智之 議員

答弁 ①地域通貨の導入により地域経済の活性化について一定の効果があると考えますが、

質問 企業へのスタートアップ支援について、①スタートアップに関する国の交付金は申請に多くの時間と労力が必要となり、スタートアップフレンドリーな資金調達とは言えない。地域産業の活性化のためにも、市独自の交付金制度を構築しては。②早期の教育段階から起業について知る機会を持つことは重要と考える。児童・生徒の目線

答弁 ①本市では令和7年度に全小学校が35人学級と

一般質問 (要旨)



笑顔でお迎え (はたちのつどい)

質問 小中一貫校は、中学進学時の慣れない環境から不登校などになる中一ギャップの解消や、生徒の意欲・学力の向上に成果がある。設置に向けた考えは。

答弁 現行の小中連携教育の取り組みを継続しながら、発達段階に応じた教育活動の連続性や教職員間の連携などを推進する中で、小中一貫教育の在り方について、引き続き検討していく。

質問 学校外でも体験学習が行えるよう、平日に欠席



スタートアップ支援について

自由民主党昭島市議員 安保 満 議員

質問 小中一貫校は、中学進学時の慣れない環境から不登校などになる中一ギャップの解消や、生徒の意欲・学力の向上に成果がある。設置に向けた考えは。

答弁 現行の小中連携教育の取り組みを継続しながら、発達段階に応じた教育活動の連続性や教職員間の連携などを推進する中で、小中一貫教育の在り方について、引き続き検討していく。



小中一貫校の設置について

無党派 永井 みつる 議員

答弁 ①地域通貨の導入により地域経済の活性化について一定の効果があると考えますが、

質問 がんの早期発見にはがん検診が重要であるが、目標の受診率50%を超えていない。①受診率向上のため、女性の子育て期間中の乳幼児健診に併せてがん検診を受けられるようにする。②がん検診を促すような周知・啓発を。③各

答弁 ①がん検診を受診した方に対してインセンティブの付与を改めて検討すべき。②がん患者の医療用ウィッグ購入費用助成制度の創設について、考えは

質問 小中一貫校は、中学進学時の慣れない環境から不登校などになる中一ギャップの解消や、生徒の意欲・学力の向上に成果がある。設置に向けた考えは。

答弁 現行の小中連携教育の取り組みを継続しながら、発達段階に応じた教育活動の連続性や教職員間の連携などを推進する中で、小中一貫教育の在り方について、引き続き検討していく。

小学生が本会議を傍聴



社会科・総合的な学習の時間の一環として、小学校6年生(共成小学校、玉川小学校、田中小学校)が、本会議を傍聴しました。

行政視察報告

総務委員会

視察日 令和5年10月17日(火)～19日(木)

視察項目 「岐阜県多治見市」「岐阜県美濃市」

参加者 10人(委員8・同行職員1・随員1)

費用 79万2千450円

「北海道石狩市」

「北海道札幌市」

「公立夜間中学」「札幌市立星友館中学」

「札幌市子ども発達支援総合センター」「ちくたく」

参加者 10人(委員8・同行職員1・随員1)

費用 79万2千450円

建設環境委員会

視察日 令和5年10月18日(水)～20日(金)

視察項目 「石手県花巻市」

参加者 8人(委員6・同行職員1・随員1)

費用 56万7千226円

厚生文教委員会

視察日 令和5年10月25日(水)～27日(金)

参加者 8人(委員6・同行職員1・随員1)

費用 56万7千226円